



■目次

レイアウト p. 1

テキスト設定

- ・テキストスタイルの設定 p. 2
- ・「マルチテキスト」ツール p. 3
- ・寸法スタイルの設定 p. 3
- ・「引出線」ツール p. 4

出力

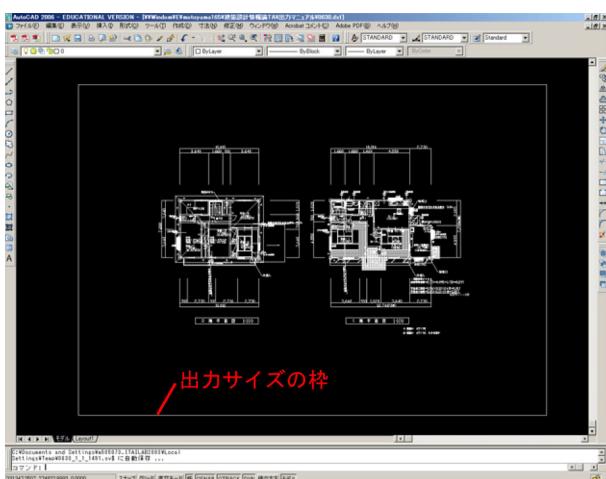
- ・プロッタ : HP Designjet4000ps p. 5
- ・プリンタ : DocuPrintC3540 p. 7
- ・PDF 出力 p. 9

■レイアウト

1) 出力サイズの枠を作成し、その中に作成図面・画像等をレイアウトする。また印刷する図面の線の色をすべて黒に変換しておく。

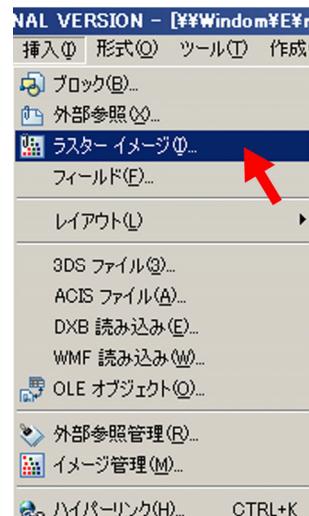
* CADの画面上では縮尺 1:1 で作図されるため、出力サイズの枠を作成する場合は実際の大きさよりも図面の縮尺分大きくする必要がある。例えば標準規格の A2 サイズは 594mm×420mm だが、縮尺 1 : 100 で印刷したい場合には 59400mm×42000mm の枠を作成する。

*出力しないオブジェクトは非表示にしておく。もしくは印刷する図面だけを新規ファイルにコピー&ペーストする。

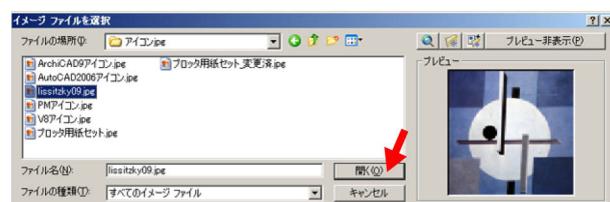


2) 画像を挿入する。

「挿入」メニューから「ラスターイメージ」を選択する。



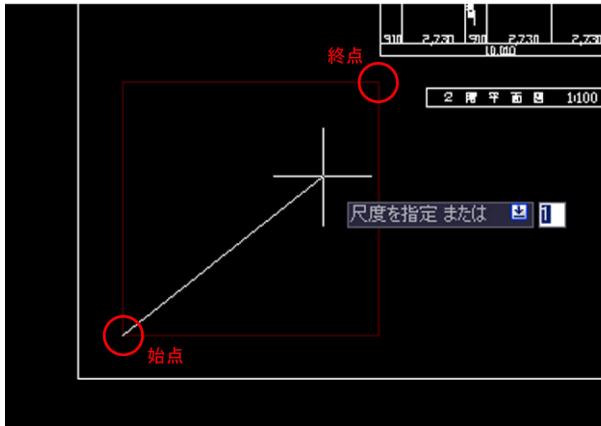
3) 挿入するデータを選択し、「開く」ボタンを押す。



4) 「イメージ」 ウィンドウで挿入する画像の設定を行う。設定を終えたら「OK」ボタンを押す。



5) 挿入したい場所の対角線上の 2 点をクリックする。サイズは挿入した後で変更することができる。



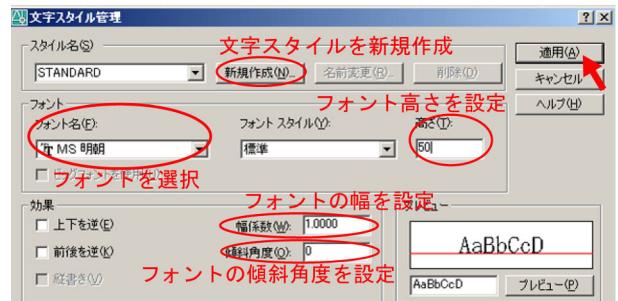
■テキスト設定

◇テキストスタイルの設定

1) 「スタイル管理」 メニューの「文字スタイル管理」をクリックする。



2) 文字スタイルを設定し、「適用」ボタンを押す。



3) 「閉じる」ボタンを押して文字スタイルの設定が完了する。

*寸法スタイルの設定を変更すると、その寸法スタイルの設定で書かれた引出線がすべて一括で変更される。



◇ 「マルチテキスト」ツール

1) 「作成」メニューから「マルチテキスト」ツールを選択する。



2) 文字を配置したい場所の対角線上の 2 点をクリックする。
サイズは文字を配置した後で変更することができる。



3) 下図 a、b が表示される。

図 a の設定をして図 b (テキストウィンドウ) にテキストを打ち込む。図 a の「OK」ボタンを押して完成。

*図 b のルーラーを左右に動かすことでテキストウィンドウの長さを調節することができる。

*テキストの設定を変更する場合は、テキストをダブルクリックすると図 a、b が表示される。

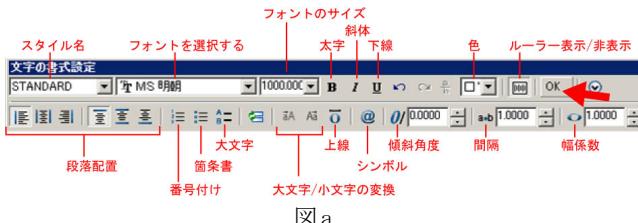


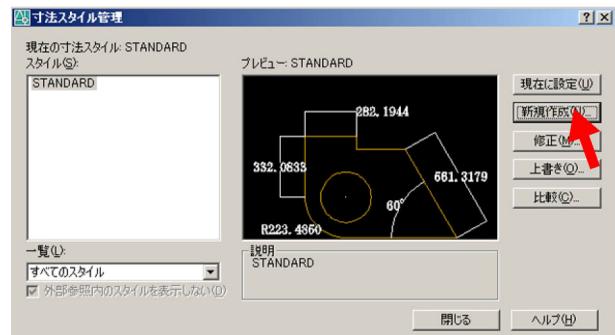
図 b

◇寸法スタイルの設定

1) 「スタイル管理」メニューの「寸法スタイル管理」をクリックする。



2) 「新規作成」ボタンを押す。



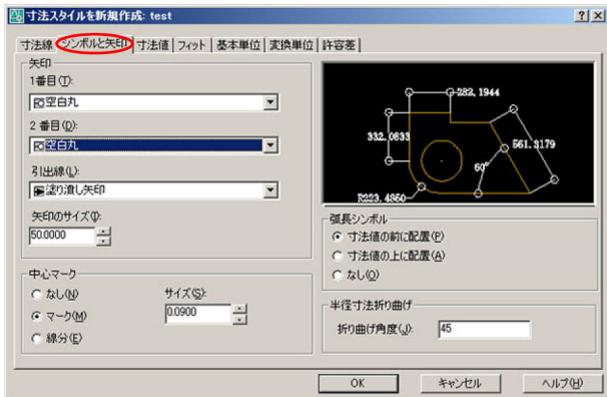
3) 新しいスタイル名を記入し、「続ける」ボタンを押す。



4) 「寸法線」の設定をする。



5) 「シンボルと矢印」の設定をする。

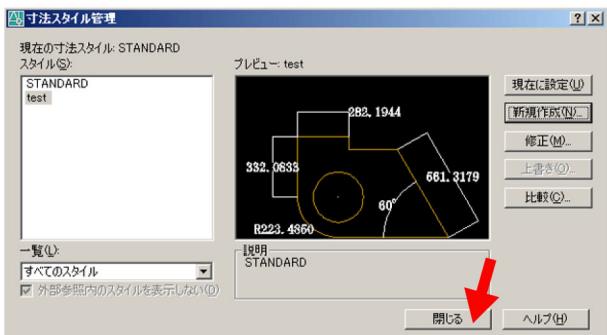


6) 「寸法値」を設定し、最後に「OK」ボタンを押す。



7) 「閉じる」ボタンを押して「寸法スタイル」の設定が完了する。

*寸法スタイルの設定を変更すると、その寸法スタイルの設定で書かれた引出線がすべて一括で変更される。



◇「引出線記入」ツール

1) 「寸法」メニューの「引出線記入」を選択する。



2) 引出線を配置する場所、テキストが終わる位置をクリックし、最後に右クリックする。右クリックするとテキストウインドウが現れるのでテキストを打ち込み(図d参照)、図cの「OK」ボタンを押す。

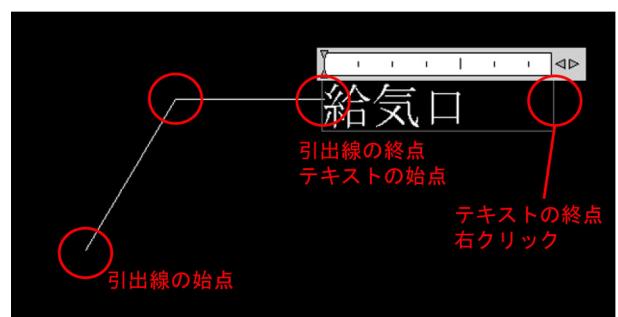
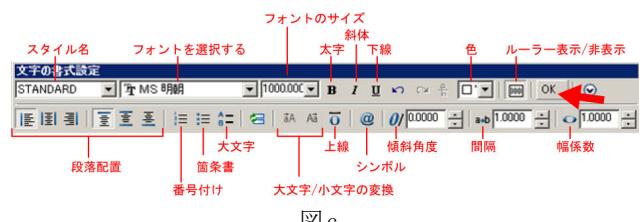


図 d

3) 引出線の設定を変更したい場合は引出線をダブルクリックする。プロパティが現れ、そこで設定を変更することができる。



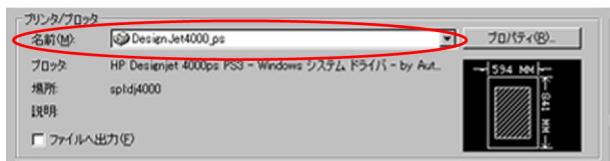
■出力

◇プロッタ : HP Designjet4000ps の場合

1) 「ファイル」から「印刷」を選択する。



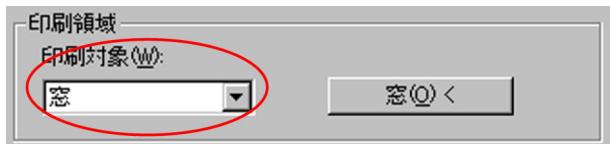
2) プリンタを「Designjet4000_ps」に設定する。



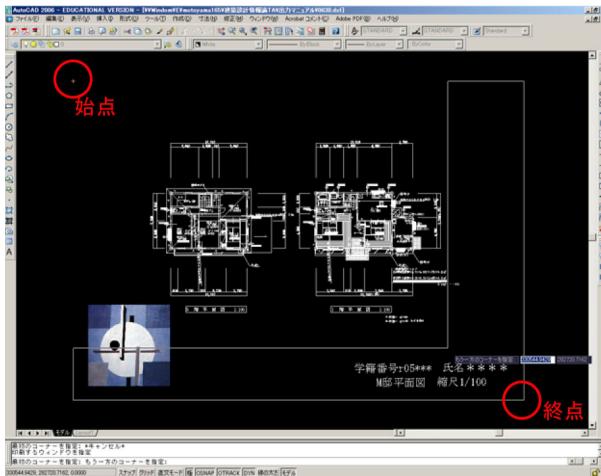
3) 用紙サイズは出力サイズより一回り大きいサイズを選択する。(例えば出力サイズがA2サイズの場合はA1サイズの用紙を使用する。)



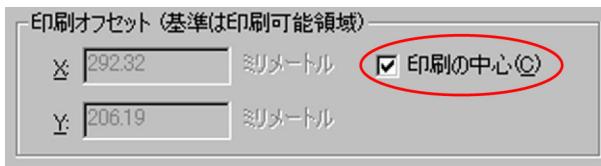
4) 印刷領域を設定する。まず「印刷対象」を「窓」にする。



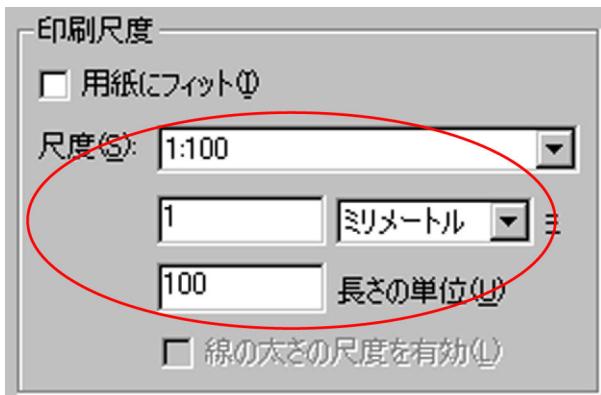
5) 次に出力サイズの枠（■レイアウトの手順1で作成した枠）の対角線上の2点を選択する。



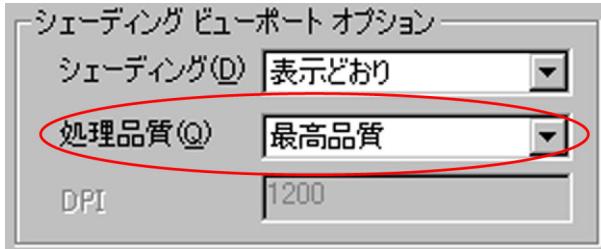
6) 「印刷の中心」にチェックを入れる。



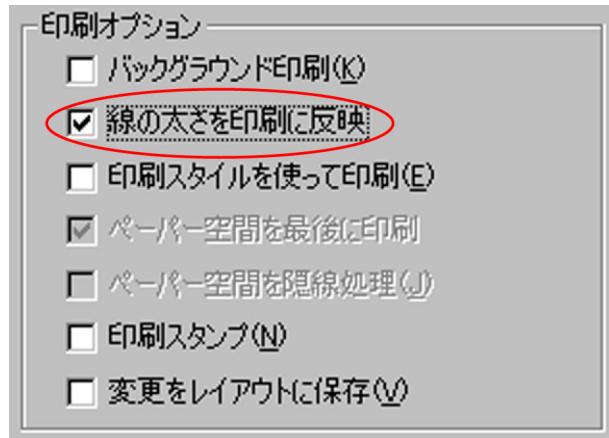
7) 「印刷尺度」では「用紙にフィット」のチェックを外して、図面の縮尺を設定する。



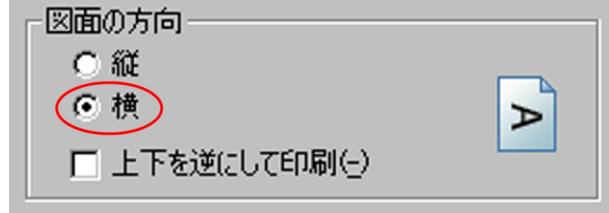
8) 「処理品質」を「最高品質」に設定する。



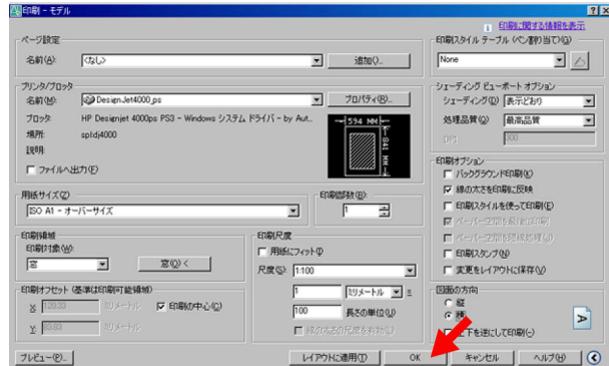
9) 「印刷オプション」で「線の太さを印刷に反映」にチェックを入れる。この設定によって図面の太線・細線がきちんと印刷される。



10) 図面の方向を横に設定する。



11) 以上の設定を終えたら「OK」ボタンを押す。



- 12) 出力室に行き、プロッタのコントロール画面に従って用紙をセットする。(印刷の向きを「横」に設定したので、プリンタに対して用紙を縦長にセットする。下図参照)



- 13) 学生証を用いて印刷を開始する。

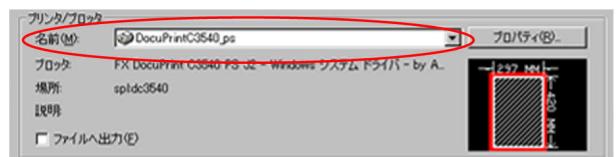
- 10) 印刷が終了したら、出力サイズの枠(■レイアウトの手順1で作成した枠)に沿って用紙を切って、完成。

◇プリンタ: DocuPrintC3540 の場合 (A4 サイズに出力する場合)

- 1) 「ファイル」から「印刷」を選択する。



- 2) プリンタを「DocuPrintC3540_ps」に設定する。



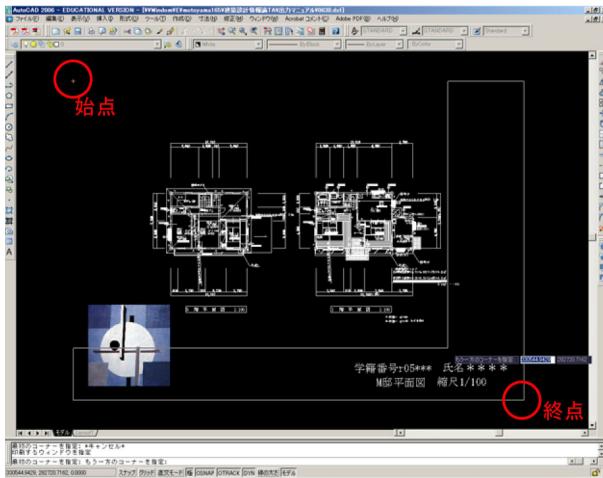
- 3) 用紙サイズは出力サイズより一回り大きいサイズを選択する。(この場合は出力サイズがA4 サイズなのでA3 サイズの用紙を使用する。)



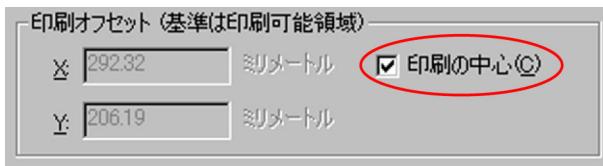
- 4) 印刷領域を設定する。まず「印刷対象」を「窓」にする。



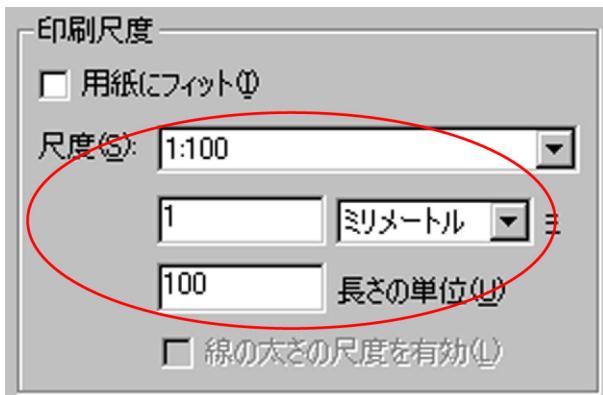
5) 出力サイズの枠（■レイアウトの手順1で作成した枠）の対角線上の2点を選択する。



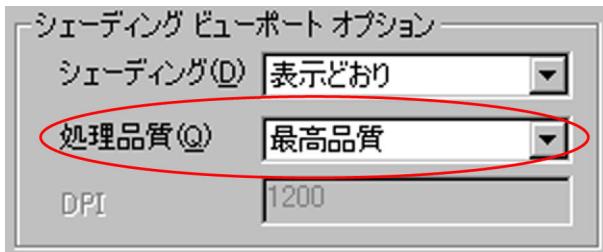
6) 「印刷の中心」にチェックを入れる。



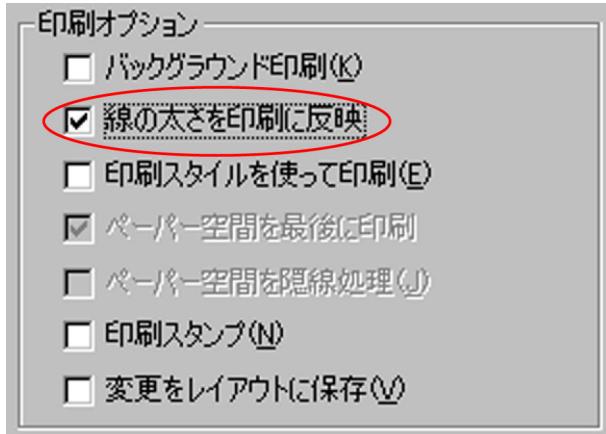
7) 「印刷尺度」では「用紙にフィット」のチェックを外して、図面の縮尺を設定する。



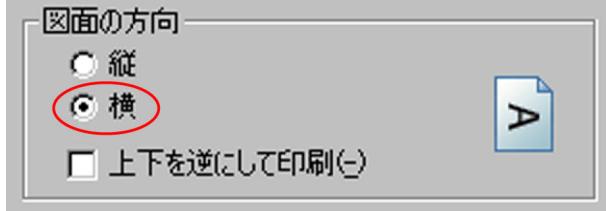
8) 「処理品質」を「最高品質」に設定する。



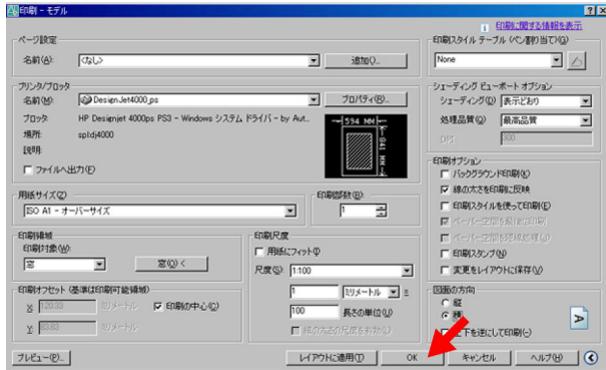
9) 「印刷オプション」で「線の太さを印刷に反映」にチェックを入れる。この設定によって図面の太線・細線がきちんと印刷される。



10) 図面の方向を横に設定する。



11) 以上の設定を終えたら「OK」ボタンを押す。



12) 学生証を用いて印刷を開始する。

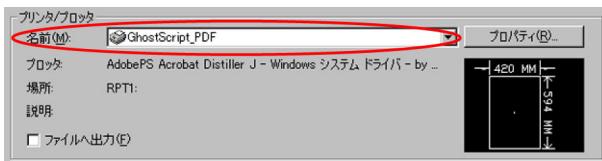
13) 印刷が終了したら、出力サイズの枠（■レイアウトの手順1で作成した枠）に沿って用紙を切って、完成。

◇PDFの場合

1) 「ファイル」から「印刷」を選択する。



2) プリンタを「GhostScript_PDF」に設定する。



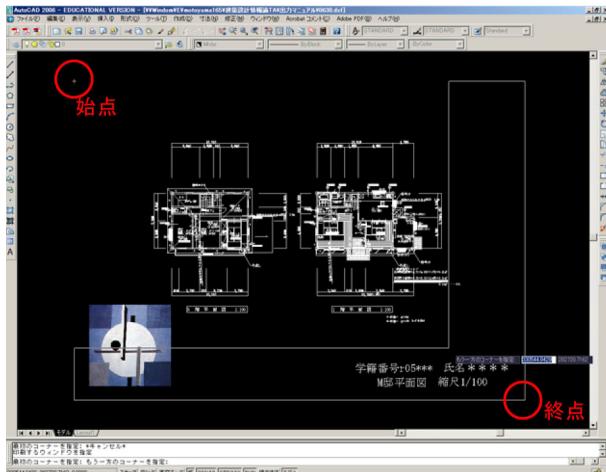
3) 用紙サイズは出力サイズに設定する。(例えば出力サイズがA2サイズの場合は「A2」と設定する。)



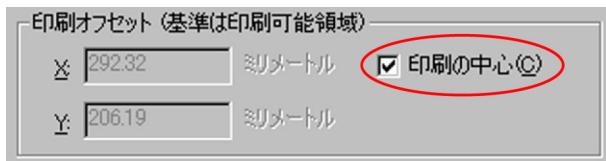
4) 印刷領域を設定する。まず「印刷対象」を「窓」にする。



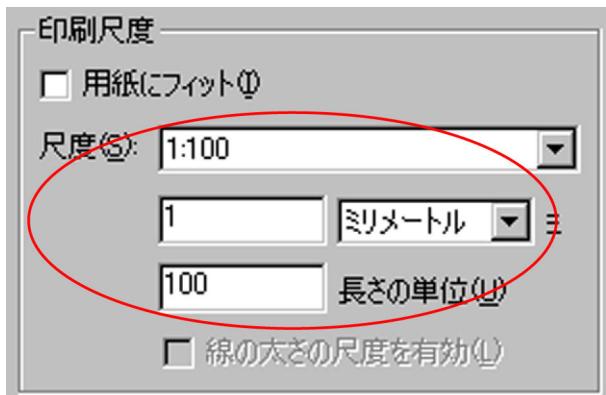
5) 出力サイズの枠(■レイアウトの手順1で作成した枠)の対角線上の2点を選択する。



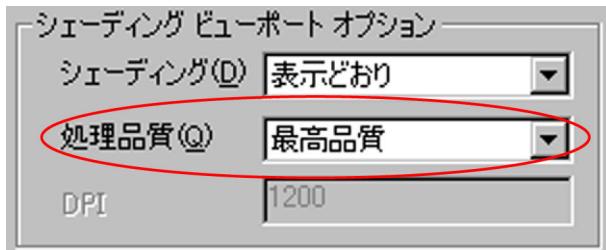
6) 「印刷の中心」にチェックを入れる。



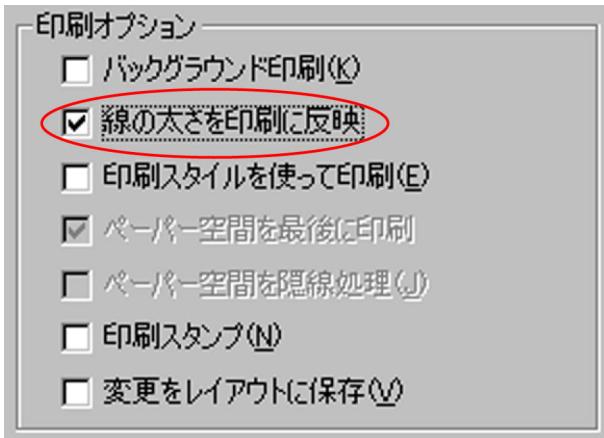
7) 「印刷尺度」では「用紙にフィット」のチェックを外して、図面の縮尺を設定する。



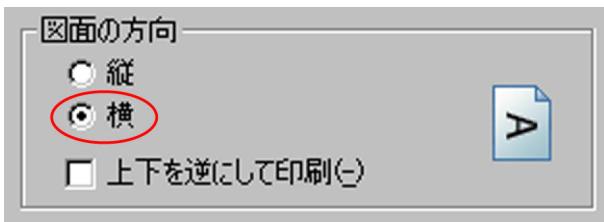
8) 「処理品質」を「最高品質」に設定する。



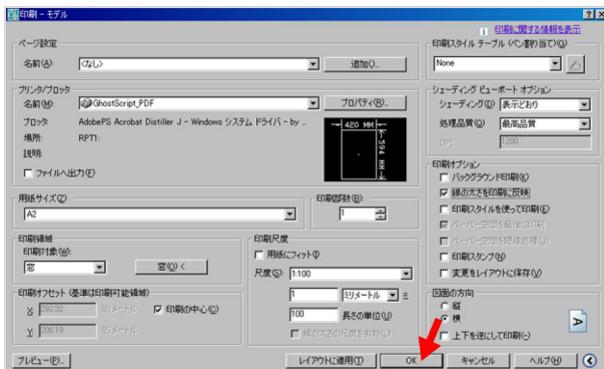
9) 「印刷オプション」で「線の太さを印刷に反映」にチェックを入れる。この設定によって図面の太線・細線がきちんと印刷される。



10) 図面の方向を横に設定する。

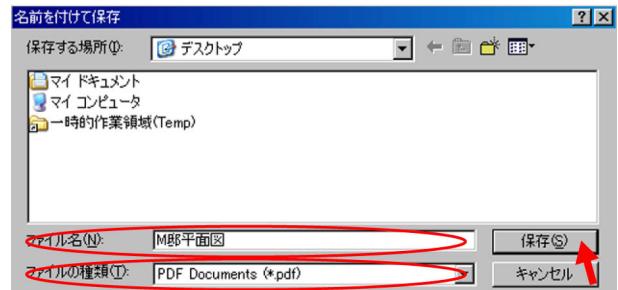


11) 以上の設定を終えたら「OK」ボタンを押す。



12) PDF ファイルの保存先を設定し、ファイル名を記入する。最後に「保存」ボタンを押して、完成。

* ファイル名にスペースを入れないこと。



13) もし作成した pdf データのアイコンが下図のような表示になってしまったら「名前の変更」で名称の後に「.pdf」と打ち込む。するとアイコンの表示が AdobePDF になる。

